

東郷町都市計画審議会議事録

日時 令和2年11月25日(水)
午後1時30分から午後3時
場所 あいち尾東農業協同組合
東郷支店2階会議室

- 1 出席者
太田安彦、近藤教文、小島賢治、寺澤秀治、中林久子、柘植豊彦、高木佳子、
中野まさひろ、國府田さとみ、山田達郎、加藤啓二、若園ひでこ
- 2 代理出席
橋本博史(愛知警察署長代理 交通課長)
- 3 欠席者
松野一彦、近藤金好、松尾幸二郎
- 4 事務局
都市建設部長 加藤克彦、都市計画課長 小林一夫、係長 近藤友裕、主事
野々山大稚、主事 小野良祐
- 5 傍聴者
なし
- 6 会長の選出並びに会長の職務代理及び議事録署名委員の指名
太田安彦委員を、会長に選出した。
寺澤秀治委員を、会長の職務代理に指名した。
中林久子委員及び加藤啓二委員を、議事録署名委員に指名した。
- 7 議題
議案第1号 東郷町都市計画マスタープラン(案)
- 8 質疑意見
(1) 質疑応答

Q1 20年先まで来ると、通信も5Gから7Gになっていると思う。だいたい6～7年でひとつずつ数字が上がるといわれており、7Gになれば、通信インフラについても、大きな変化が起こると思う。このような内容については、国でも今後の対応が分かっていない状況だが、通信インフラの変化に対応するために、これから先なにが起こるんだろうという推測の内容についても町民の皆様にPRできるような記載があったほうがよいのではないか。

A1 新たな技術、これから登場するであろう技術については、当然取り入れ

ていくべきものであると考えているが都市計画マスタープランは、10年先を目標年次としていくものであり、その中で32ページの中で、先端技術に対する全国的な取組等を背景として記載している。

東郷町としても、全国的な取組を基に、先端技術の積極的な取り入れを検討すべきと考えており、43ページ一番下で、「都市拠点の中で、AI（人工知能）やビックデータ等の最先端技術を活用することによる町民福祉・利便向上も検討していきます。」等の文言の記載をしている。

ただし、現時点で確定的に書ける範囲での記載としているため、現在の表現のままとさせていただきたい。

Q2 39ページの上から3行目、「交流人口の増加により、日常的な賑わいや活力を増大させるとともに～」との記載があるが、昨今言われている「交流人口」と「定住人口」の間にある「関係人口」の観点が少ないため、目標Ⅰ「まちの魅力や活力を向上させる持続していけるまち」や目標Ⅲ「誰もが住みたい・住み続けたいまち」に絡んで、「関係人口」の増加を目指していくというような記載をする必要があるのではないか。

A2 「交流人口」の記載は、38から39ページの目標Ⅰ「まちの魅力や活力を向上させる持続していけるまち」の施策のひとつとして記載している。この記載の観点としては、賑わいの創出を主としているため、現在の表現のままとさせていただきたい。

また「関係人口」観点は、当然必要であると考えているが、「関係人口」を増加させるための具体的な施策については、都市計画マスタープラン以外の個別計画の中で記載していくべきと考える。

Q3-1 環境問題について、具体的な施策の記載が今のところない。例えばCO²の削減については、実現可能かは別問題として、具体的に何をするのかということぐらひは项目的に書いても良いのではないかな。

Q3-2 20年後、30年後という観点からすると環境問題に対する視点が薄いのではないかな。

目標の中では、SDGsのアイコンが示されているが、環境問題に関連する記載は、コンパクトシティ1点のみ。28ページに「環境問題への対応」の記載はあるが、過度な自動車依存からの転換が主として記載されているだけで、今後の環境問題に対して具体的な都市計画像が描かれているのか懐疑的。もう少し環境問題への対策について、どこかに施策として記載できないかな。

A3 都市計画マスタープランの中で、環境問題についてこういった取組ができるのかと考えた場合、過度な自動車依存への対応と公共交通の整備が挙げられると考えている。その他にも環境問題への対策は、多々あると考えるが、その他の環境問題に対する具体的な施策については、都市計画マスタープラン以外の個別計画の中で記載していくべきと考える。

(2) 意見

意見1 20年先を見ようとするすると若干欠けた文言があるのではないかな。例えば、デジタルトランスフォーメーションについてまったく記載がない。時代の流れから言ってもデジタルトランスフォーメーションについては記載しなければならないと思うが、AIへの活用等の類似の内容の記載があるのみで総合的な視点での記載が少ないと思う。

意見2 モビリティの世界においてもMaaSの流れから出てくる問題があるだろうと思う。20年先ほとんど電気自動車になっており、そういう流れから車の在り方そのものが変わってくるのではないかな。車の公害問題や交通安全の問題以外にも、何か違った分野まで提案して記載しておいたほうがよいのではないかなと思う。

意見3 ピンポイント的になるが、ゴミのポイ捨てについての記載が少ないのではないかな。東郷町には東郷町ポイ捨て等禁止条例があり、今後、大きな商業施設や小規模商業施設が出来ることにより人通りも増え、瀬戸大府東海線沿いはゴミがさらに増えることが予想される。春木台の自治会独自の取組として、ゴミを拾っていこうという取組を行っており、ゴミのポイ捨てに対する意識が高い。また資源ゴミの観点も少ない。きれいなまち・犯罪の少ないまちのためにも、アメリカのニューヨークでは、ゴミが多いまちは、犯罪が多いまちという分析もあるため、そうしたゴミのポイ捨てに関する視点でも記載をできると良いと思う。また誰に対してもゴミ問題について、啓蒙できるような記載をしていくべきだと思う。

意見4 20年後を見据えて10年先の計画を立てる上での見直しの観点について、PDCAサイクルや「町民・事業者等・行政の連携によるまちづくりのプロセスのイメージ」はあるが、10年とはいわず数年先には、デジタル関係の進歩もあると考えると、かなり近い段階で大きな見直しを図る必要があると思う。その際のまちづくりに対する町民参加のプロセスを想定・検討をしていく必要があると思う。

意見5 財政は平成30年度までは良いが、平成31年度は逆転し、支出が増加してきていると聞いている。そういう中では、税収を上げることが重要。既存の工業団地を拡充するということが記載されており良いと思う。また、豊明・日進が、企業庁を活用し開発を進めているとも聞いている。そうした企業庁を上手に活用した企業誘致を進めていければよいと思う。

意見6 東郷の場合は、鉄道がない。そうした観点から国道153号線について6車線化を要望しているとのことであるが、将来、高速道路が出来ると聞いていた。時代は変化してきていると思うが、名古屋市と豊田市を結ぶ高速道路を作り、交通の便を良くしていけるとよいと思う。

意見7 愛知池周辺は、優れた景観の地域と思うが、愛知池周辺を活用した名大農場と連携した農業と関係した総合公園を立地していくのも良いと思う。

意見8 国道153号線6車線化について、過度な自動車依存からの脱却と整合性が取れるようにしておくべきと考える。

意見9 具体的な施策を書きすぎるのは、すぐに計画を変更する必要があるため、そこまで具体的な施策を書く必要はないのではないかと思う。

9 審議結果

諮問のとおりで異議なし